

GOVERNOR'S

Rotary
District2530



イマジン
ロータリー

MONTHLY LETTER 8

Rotary International District 2530 Vol.2

ガバナー月信 2022年 / 8月号

2022



喜多方市 三ノ倉高原ひまわり畑

CONTENTS ガバナー月信 2022年 8月号

ガバナーメッセージ……………	2	委員会事業計画……………	6	職業奉仕委員会……………	15
第1回ガバナー会議報告……………	3	船引RC・船引中学校IAC合同例会…	14	地区大会案内・ロータリーなんでも相談室 開設のお知らせ・公共イメージQRコード…	16
第1回諮問委員会……………	3	第9回全国青少年交換委員長会議及び 全国危機管理委員長会議報告……………	14		
ガバナーノミニ候補者指名案について……………	4	米山記念奨学生卓話研修会開催報告…	15		
前期地区委員会総会報告……………	4				

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤正道

ガバナー事務局 〒966-0092 福島県喜多方市字清水台2-92 (南)中野商店2F
TEL: 0241-23-6016 FAX: 0241-23-6026 E-mail: 22-23sato@ri2530.com

地区事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町26-3
TEL: 024-954-6755 FAX: 024-954-6615 E-mail: chikujimusyo@ri2530.com

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2530 地区
2022-23 年度ガバナー

佐藤正道
(喜多方RC)

新年度が始まり早一カ月が過ぎました。7月3日の前期地区委員会総会は、コロナ禍以前よりも多くの地区委員の方に参加いただき、各委員会からはRI会長方針、地区方針を盛り込んだ素晴らしい年間計画が策定されました。委員会の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。この総会を皮切りに、各種セミナーが次々と開催されています。また公式訪問も7月5日より開始しましたが、クラブを訪問して感じたことは、安定的な会員数を維持しているクラブのほとんどは、若い世代を積極的に増強していることです。この現象は老舗クラブにおいて顕著で、一見伝統を意識するが故、改革が進んでいないように思えますが、クラブ内で世代交代が順調に進んでいるようです。逆に急激な会員減少をしているクラブは、若い世代の構成比率が低く、ベテラン会員がクラブ運営の一線で活躍している様子が見て取れます。さらに定款は標準定款に準じているにも関わらず、運営に関する裁量権が認められた細則によって、クラブ運営を硬直化させ、特に委員会構成は古い体制のままで、多くの委員会を限られた会員で受け持つため一人や二人委員会となり、委員会が機能しない状況に陥っているように思います。また奉仕事業は、他団体の主催する事業への参画や協賛が主となり、計画から実行まで会員が深くかかわれる自主事業が行われていません。期

待されず歓迎もされないクラブには新会員も定着しないことになるでしょう。

前年度シェカール・メータRI会長は、世界の会員数を130万人にするために「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)と呼びかけました。この130万人へのチャレンジは、RIとして初めてではなくて、2014-15年度ゲイリーC.K.ホアン会長時にも同様の目標を掲げました。結果はどちらも目標には達せず、前年度末は120万人を割り込む事態となり、日本の会員も減少し8万3千人余、当地区も49名の減少となりました。全体的にコロナ禍の影響を受けたのかもしれませんが、同じ条件下で会員を増やしているクラブもあるのです。

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員の積極的な参加こそが会員の維持にとって重要で、それを促すためには適応と改革が必要だと言っておられます。時代のニーズに適応するために、組織の見直し、規約の変更によってクラブを改革し、会員が積極的に参加できる環境を整える必要があります。今年は規定審議会が開催されたため、標準クラブ定款も変更になります。各クラブもこれに合わせて定款・細則を変更し、クラブの実情に合った規約にしていきたいと思います。是非、時を待たずに行動に移してください。

RI2840地区田中久夫パストガバナーは、著書の中でこう言っています。

「一度きりの人生、ロータリーに浸ってみるのも悪くはない」

会員が浸れる心地よいクラブ環境を共に作り上げていきましょう。

第1回ガバナー会議報告 7月1日

ガバナー 佐藤正道 (喜多方RC)

第1回ガバナー会議が7月1日グランドプリンスホテル高輪にて開催されました。初めに議長・副議長の選任が行われ、次にガバナー会顧問を佐藤芳郎RI理事に委嘱しました。続いて新事務局長に東京新橋RC所属の金澤洋氏が就任しました。金澤氏は無償のボランティアとして勤務するそうです。報告事項としては、1点目、中断されていた日韓親善会議を再開するにあたり各地区から委員を選出願いたいと依頼がありました。2点目、コロナ禍により延期されていた日台親善会議が2023-24年度に開催されること。3点目、ガバナー会とロータリー文庫の統合について説明があり、文庫資料のデジタル化により事務所面積が縮小することからガバナー会事務局をロータリー文庫へ移転する計画があるとのことですが、現在の事務所に同居するRIJYEMが単独で事務所費を拠出できないため、現在協議中とのことでした。4点目、規約の確認。

5点目、災害支援ならびに義援金への対応について。6点目、ウクライナの支援について。審議事項は、1点目、予算案の承認。2点目、地区大会の申し合わせ。協議事項は、1点目、ガバナーサポート委員会設置について。2点目、未来委員会の設置について。3点目、ガバナー会を他地区合同機構にする事の提案。私は未来委員会についてはすぐにでも設置すべきだと提案しましたが、慎重論が過半数を占め、協議事項すべて継続協議となりました。その後今後のスケジュールの確認があり、予定の時間を40分オーバーして閉会となりました。続いて、別室にてガバナー・元・次期ガバナー懇談会が開催され、ガバナー、ガバナーエレクトの挨拶がありました。予想を超える参加者のため、コロナ対策に配慮した懇談会となりました。終了後はロータリーの友合同委員会が開催され、事業計画の説明がなされました。因みに各地区の友委員会委員はオンラインでの参加となりハイブリット形式でした。以上がガバナー初日の長い一日でした。

第1回諮問委員会 7月3日



地区幹事

佐藤日出夫
(喜多方RC)

2022年7月3日(日)11時より、リステル猪苗代にて2022-23年度第1回諮問委員会が開催されました。(定足数の確認：諮問委員16名のうち12名が出席され諮問委員会は有効に成立致しました。)

諮問事項

- (1)2022-23年度地区大会開催要項について
開催日時：2022年11月12日(土)
会津若松ワシントンホテルにて
2022年11月13日(日)
喜多方プラザ文化センターにて

- (2)2022-23年度地区大会委員会
委員長の選任について

登録委員会 志賀利彦直前ガバナー
資格審査委員会 石黒秀司パストガバナー

選挙委員会 芳賀 裕パストガバナー
決議委員会 平井義郎パストガバナー
(3)ガバナーノミニ (2025-26年度ガバナー候補者) 指名について

地区ガバナー指名委員会(委員長：志賀利彦直前ガバナー)は、各クラブに対して「月信8月号」にて2025-26年度ガバナーに就任するガバナーノミニ候補者として適任者があれば、候補者指名案を9月30日までに指名委員会へ提出するよう要請致します。

報告事項

- (1)地区事務所について

1. 地区事務所の鍵交換についての経過報告
2. 地区事務所の事務担当者募集開始について

- (2)2022-23年度第1回ガバナー会報告

- (3)第51回ロータリー研究会について

- (4)前期地区委員会総会について

- (5)2023-24年度地区研修リーダーについて

右近ガバナーエレクトより、次期地区研修リーダーを芳賀裕パストガバナーへお願いした旨の報告があった。

以上、報告と致します。

国際ロータリー第 2530 地区 2025-26 年度 ガバナーノミニー候補者指名案について

地区ガバナー指名委員会（委員長：志賀利彦直前ガバナー）は、各クラブに対して2025-26年度にガバナーに就任するガバナーノミニー候補者として適任者があれば、候補者指名案を指名委員会に提出するよう要請します。候補者指名案の提出は9月30日(金)までとします。

《提出書類》

1. 2025-26年度ガバナーノミニー推薦書
(例会で決議された旨クラブ幹事が正式に証明したクラブ会長署名の推薦書)
2. 本人推薦承諾書
3. 本人ロータリー歴記載の経歴書

※書式は地区のホームページに掲載します。

《提出先》※必ず郵送してください。

〒966-0092

喜多方市字清水台2-92(有)中野商店2階

国際ロータリー第2530地区

ガバナー事務所内

第2530地区ガバナーノミニー指名委員会

委員長 志賀利彦

※封筒表面に

「ガバナーノミニー推薦書在中」と朱書してください。

前期地区委員会総会報告 7月3日



地区幹事

佐藤 日出夫
(喜多方RC)

2022年7月3日(日)13時30分より、リステル猪苗代にて2022-23年度前期地区委員会総会が開催されました。久しぶりのリアル開催と云う事でどれくらいの委員の方がご参加いただけるか心配をしておりました。全体会議には135名、懇親会には96名の方にご参加いただき佐藤正道ガバナーも満面の笑みでご挨拶をされていました。

佐藤正道ガバナー、石黒秀司地区研修リーダーのご挨拶により全体会がスタートしました。14時～15時30分までガバナー補佐会議と各委員会の分科会が開催されました。分科会の



リアル開催も久しぶりの事であり、分科会会場へのご案内に不備がありご迷惑をおかけいたしました。

分科会終了後、全体会議が再開され11の委員長さんより「今年度活動計画」について各5分間の発表をいただきました。その後、石黒地区研修リーダーより総評を頂きました。

最後に、右近ガバナーエレクトより2023年5月27日～31日にオーストラリアのメルボルンで開催予定の国際大会についてご案内があり全体会は終了となりました。



その後、新型コロナ感染拡大に注意をしながら懇親会が開催されました。印象的だったのは何といっても志賀利彦直前ガバナーのすがすがしい表情でした。志賀直前ガバナー、蛭田地区幹事1年間お疲れ様でした。

久しぶりの懇親会を皆様にも楽しんでいただけたのであれば嬉しいです。

最後に、懇親会をリアル開催した成果を1つご紹介致します。残念ながら、ホテル内のレストラン等が休業中だったので、二次会は佐藤正道ガバナーの部屋で11名での開催となりました。その中に3名のにぎやかな会員も参加されました。私は彼らが昔からの知り合いなのだろうと思いながら話を聞いていました。しかし、彼らはその日に初めて出会った3人だったのです。今後、彼らの友情は深まるものと確信しました。これこそ、リアル開催の成果だなと感じた瞬間でした。

以上、報告と致します。

委員会事業計画



地区研修委員会

委員長 石 黒 秀 司
(郡山RC)

ロータリーの研修は、ロータリーの目的、基本理念に基づく使命、及び組織や活動内容を学び、かつ理解し、これらを自己の職業、クラブ活動、および社会生活などに生かすことによって各ロータリアンの自己向上と社会発展に寄与することを目的とする。研修を通じて「立派なロータリアン」を育てることは、ロータリーの継続と成長のカギとなる。そして、今年度は、「ロータリーの原点探りからロータリーの魅力を深堀し、その魅力を十分に体感、享受し、自己成長を果たした上で、ロータリーの魅力を自身のことばで、多くの方々に伝える。」

この研修委員会の方針を冒頭に再度確認し、前期の事業計画の検討、確認に入った。

◆前期委員会事業計画

*研修委員会セミナー 2022年7月18日
(祭・月)に開催。

この2年のコロナの影響を受け、厳しい環境下にあるロータリーの現状。今こそ、未来の為に決意の行動が求められる。ガイ・ガンディカー「ロータリー通解」研究の第一人者、また、ロータリーの友、ガイ散策連載で知られるRI2800地区の鈴木一作PDGに「今こそ大切なGUY Gundakerのロータリー観」のテーマで基調講演をいただき、ロータリーの原点からロータリーの魅力を深堀し、自己成長へのモチベーションへと繋げるセミナーとする。

*研修委員会をより機能させる為に委員を担当制にして、各委員会セミナーの企画段階から参画する。

*クラブ、会長エレクト、ノミネーを対象にCLPについてのセミナーの企画。(後期にセミナー開催)

*地域リーダーの積極的活用と橋渡し・・・委員会へのPRも含めて。



地区・クラブ規定委員会

委員長 芳 賀 裕
(福島中央RC)

1. 委員会メンバー

- 委員長 芳賀 裕 (福島中央)
- 副委員長 重富 秀一 (浪江)
- 委員 廣澤 俊樹 (福島南)
- 委員 小林 千秋 (東白川)
- 委員 土屋 繁之 (郡山コスモス)
- 委員 渡部 英一 (猪苗代)

2. 委員会方針と事業計画

委員会方針は、全クラブの定款・細則がRI組織規定に基づく内容になるよう改正を支援し、改正地区運営規定の周知を図り更なる見直

しの検討をする。

委員会事業として、

- ①各クラブに対して、今年度RI規定審議会の結果を踏まえた標準クラブ定款・推奨クラブ細則の情報を提供し、見直しを支援する。
- ②今年度改正された地区運営規定に関するセミナーを開催し、地区活動に理解を深めるとともに、クラブ活動にも役立てていただく。
- ③地区運営規定を改正されたRI組織規定に準拠した見直しを行う。

3. 前期委員会予定

7月10日(日) ZOOM委員会(セミナー開催打合せ)

8月7日(日)「地区・クラブ規定委員会セミナー」開催

- 9月 規定審議会後の翻訳 RI 組織規定の確認
(各クラブへの周知方法等打合せと実施)
- 10月 各クラブへ定款・細則の改正状況調査
※必要があればセミナー開催も検討する。
- 12月 調査結果を踏まえ、後期の活動計画策定
4. 「地区・クラブ規定委員会セミナー」開催について

1. 日時 2022年8月7日(日)
13:30～16:00
2. 場所 郡山市日和田町高倉字下
中道116
福島県農業総合センター
大会議室
3. 内容 ①「改正地区運営規定」
について説明
②グループによる意見交換等ディスカッション



RLI 委員会

委員長 佐藤 榮 朗
(会津若松西RC)

RLI委員会は、今年度で5期目に入ります。RLIは、国際ロータリーが承認している米山記念奨学会と同じく他地区合同プログラムです。RLIの理念は、ロータリー・リーダーシップの研修を通じてロータリークラブを活性化することです。一般的なロータリーの知識とロータリーのリーダーシップスキルの両方を研修していきます。参加型・双方向対話型のスタイルでロータリー研修と情報共有を促進していきます。受講された方々は、ロータリーの理解を深め、ロータリーへのモチベーションを高めてくれます。RLI委員会の事業計画は、年度内前期に第5期パート1、パートⅡ、パートⅢを終了

したいと思います。年度内後期に「RLI卒業コース」を予定しています。パートⅠは、8月28日(日)ユラックス熱海に於いて、パートⅡは、10月9日(日)ユラックス熱海に於いて、パートⅢは、12月18日(日)ユラックス熱海に於いて、開催を予定しています。今まで受講者の皆さんは、会長エレクトの皆さんが中心でしたが、次回の応募からは次期幹事の皆さんや、ロータリーに関心のある方、新会員の皆さん、などに参加していただきたいと思います。今年度は、佐藤ガバナーの方針で地区委員会のセミナーをRLI方式で行いたいとのことですので、出来ましたら地区の各委員会皆様などにも幅広く受講して頂きたいと思います。DLチームとしては、DLの方がまだまだ少ないのでRLIを卒業した方々に募集していきたいと思います。



会員増強拡大・DEI委員会

委員長 福 舂 透
(郡山南RC)

2022-23年度ガバナー方針

2022-23年度第2530地区ガバナー佐藤正道

ガバナーの地区スローガンは「情熱」「行動」「感謝」「共有」とし、情熱(熱い想い)をもって行動し、感動(成果)を共有(共に分かち合う)しようと述べております。

地区重点目標は「DEIを取り入れた会員増強拡大」DEIを取り込むことによってクラブ環境を整え、現状を分析し、クラブの望む姿を描

き、会員の積極的な参加を促しましょうと掲げております。

DEIとはダイバーシティ（多様性）イクイティ（公平性）インクルージョン（包摂性・帰属性）の略称で、国、民族、人種、肌の色、男女、宗教、能力、ジェンダー等に拘らずに人と人の繋がりを大切にして行動しましょう。

当委員会の目標

ガバナー方針に基づき、地区が一体となって「会員増強拡大とDEI委員会の研鑽・浸透」に向かって邁進する。

地区委員会は、各分区ガバナー補佐、会長・幹事・クラブ会員増強・DEI委員長の積極的な協力・支援を中核として、目標達成のための学びを深め、意欲を高め、一致協力体制を確立するために、地区会員増強拡大・DEI委員会セミナーを開催し、併せて、各分区における目標達

成のための検討会を開催し、且つ、地区内の63クラブを分担して訪問し、所期の目標を達成せんとするものです。

具体的増強方針は、活動方針を基本に、各クラブ会長・幹事・会員増強委員長各位の意見具申に注目、最善の方策をまとめ、実行したいと考えます。

会員増強なくしてロータリーの未来は語れない、会員増強に全力を挙げた結果が現在の状況ならやむを得ないが、これまで本気になってやっている。これ以上はできないと断言できるか。私達委員会メンバーを含め反省し、愛するロータリーの輝く未来を信じて、ロータリーの仲間への親愛の情を促進つつ、一致協力し、新たな気概をもって邁進したいと切望しております。

公共イメージ・IT委員会



委員長 町田 晃
(郡山南RC)

RIテーマImagine Rotaryをもとに委員会キャッチコピーとしてTo be imagined by publicを掲げ活動してまいります。

公共の人々から想像されるロータリーとなるよう公共イメージ、認知度向上の観点からクラブを支援していくことを委員会の方針とします。

委員全員が継続的に有意義に活動できるよう以下の運営方針を掲げました。

- ・委員全員が、年間を通した活動ができるような方針づくりとコミュニケーションの構築
- ・委員全員による活動計画作成
- ・他の地区委員会およびガバナー補佐との連携強化
- ・積極的なメイクアップ
- ・毎月最低1回委員会を開催する

委員会の役割は、公共イメージ向上とIT化に向けてクラブを支援することです。

年間を通した具体的な活動計画として以下を予定しています。

①公共イメージ・IT委員会セミナー

7月17日（日） 第一地域ロータリー公共イメージコーディネーター井原實様のご講演のあと、グループディスカッションを行ないます

②後期（1月頃）マスコミ懇談会を開催します

③2021-22年度の地区アクション表彰の選定を行います

④ロータリー認知度アンケートの続編を計画し後期に実施します

⑤地区公共イメージホームページをリニューアルし各クラブの奉仕活動他を発信します

※月信の最終ページにQRコードを記載していますので、是非アクセスしてご覧ください。

⑥SNS(Twitter, Facebook, Instagram, YouTube)

の環境整備と情報更新を行ないます

⑦My Rotary、ロータリーショーケース、ロータリー・クラブセントラル、ラーニングセン

ターの登録と有効活用を支援します

⑧他の委員会、ガバナー補佐と連携し、ポリオ根絶キャンペーン活動を企画、推進します

その他、公共イメージ向上、広報、IT化について、クラブのお手伝いをできるよう準備していますので、ご要望、ご意見等何なりと

お知らせください。

委員全員で全力で取り組みますので、1年間なにとぞよろしく願い申し上げます。



職業奉仕委員会

委員長 齋藤 純一
(会津若松西RC)

武漢から発した新型コロナウイルスはパンデミックにまで拡大し、生活様式を変えるほど私たちの身の回りの環境もまた大きな変化のうねりが襲っています。種の起源のダーウィンは「生き残っていくものは、強いものでも、大きなものでも、賢いものでもない。それは、変化の環境に適応していける者だけが生き残る」と言っているのを思い出しました。これは動物だけでなく、企業にも団体にも当てはまることです。

佐藤正道ガバナーはこの状況を鑑みて「職業奉仕委員会についてもこの大きな変化に対応しなければならない」と私たちに大きな宿題を課して頂きました。一つは石黒年度に初瀬委員長を中心に策定しました「ふくしま職業奉仕宣言」の活用であります。委員会において職業奉仕理論の意義づけを確認しその具体的活用方法を検討したいと思います。もうひとつはRIでも

採用されましたDEI(多様性、公平さ、帰属意識)を取り入れたウイズコロナに対応した、新しい時代の職業奉仕の在り方についてであります。時代の変化に対応し「四つのテストを経営理念」として職業奉仕を実践して成功をおさめられているリユース業界のリーディングカンパニーである上場企業ハードオフコーポレーション代表取締役会長山本善政氏の講演を10月29日ユラックス熱海で開催致します。また、それを深堀するためのRLI方式を取り入れたディスカッションを実施する委員会セミナーを委員会合同や連携によって開催したいと思います。また、ガバナー月信に「職業奉仕について」をテーマに掲載させていただき広く職業奉仕の学びの機会の一助になることを願います。そしてDEIについてもDEI委員会の皆様と連携して学んでいかなければならないと思います。阿久津パストガバナーがよくおっしゃる地区の委員会はスペシャリストであり、クラブをサポートするためにあるという言葉を胸にそのあるべき姿について模索し行動する1年間にしていきたいと思います。



社会・国際奉仕委員会

委員長 早川 敬介
(郡山RC)

地区の社会・国際奉仕委員会は、各クラブの奉仕活動がスムーズに企画・立案され実行される準備を支援して参りたいと思います。

ガバナーより2022-23年度地区活動目標が提示されております。委員会として各クラブに活動をいただくには、プロジェクトを実施するための予算の確保が必須です。

1. クラブ独自の予算で活動する
2. 地区補助金を申請して活動する
3. グローバル補助金の申請やマッチングをして活動する

4. 複数のクラブや区内のクラブと共催して活動する

などが、考えられます。

委員会相談役の酒井義盛PDGよりいただいた「ドナー登録」については、ドナー登録は臓器移植ネットワークでやっているように死後提供するものと骨髄バンクのように生前提供するものがあるが、もし可能であれば、今年は環境作りの初年度として地区大会で資料の配付をいたします。

D3350と当地区との「友好地区に関する合意」がある予定です。

今後、友好クラブ締結やグローバル補助金プロジェクトの推進や情報交換など多方面での交流がされるようになりますので、しっかりと取り組むために私のところに入った情報は、国際奉仕委員会全員にメール配信いたします。



青少年奉仕委員会

委員長 大木和彦
(須賀川RC)

地区青少年奉仕委員会の基本方針

青少年奉仕活動は青少年に成長の機会を提供するだけでなく、ロータリーの公共的イメージの向上にもつながり、ひいては会員増強に結びつくものと考えています。

今年度は国際ロータリー年次目標と地区運営方針・地区活動目標をもとに事業を進めて参ります。

「参加者の積極的なかわりを促す」

1. 個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じ、ロータリーの中核的価値観を支える会員の参加促進ツールを向上させる。
2. ロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブのすべての参加者の連携を強める。

「適応力を高める」

1. バーチャルでのつながりの活用を支援・推奨し、対面式の会合、研修、ファンドライジング、奉仕プロジェクトを最適化する
2. ロータリーファミリーのすべてのリーダー

シップレベルで多様性、公平さ、インクルージョンが実現できるよう取り組みを強化する

3. ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を見直し、効果を高め、責務および説明責任の所在をより明確にする

インターアクト委員会

- ①インターアクト連絡協議会（5月、11月～12月 計2回）
- ②インターアクト年次大会（8～10月）
- ③第2530地区大会への参加（11月13日）
- ④地区外研修・国際理解研修（11～12月）
- ⑤全国インターアクト研究会(ホスト地区 四国)
- ⑥インターアクトリーダー研修（5～6月）

RYLA委員会

- ①第41回RYLA研修会 4月8日、9日（1泊2日、八幡屋）
- ②全国RYLA研究会（5月 札幌市）

青少年交換委員会

- ①第1回青少年交換委員長会議（7月）
- ②受入学生オリエンテーション（8月）
- ③東北多地区合同オータムキャンプ（9月）
- ④派遣学生選考会（10～11月）
- ⑤第2回青少年交換委員長会議（12月）

- ⑥ウインターキャンプ（1月）
- ⑦東北多地区合同スプリングキャンプ（3月）
- ⑧日本青少年交換研究大会（5月）

- ⑨受入学生送別会派遣学生オリエンテーション（6月）



ローターアクト委員会

委員長 渡辺 浩子
(福島21 RC)



共同委員長 佐藤 正治
(喜多方RAC)

2020年より、ローターアクターが国際ロータリーの構成員となり、2022年7月からはRIへ会費支払いが始まり、これまであった会員の年齢制限がなくなる等、ローターアクトクラブの立ち位置が大きく変化しております。

大きな点をまとめると以下です。

- ①ローターアクトはRIの「プログラム」から「クラブ」の位置づけに
 - ②人頭分担金の支払い（学生5ドル・社会人8ドル）
 - ③年齢制限の撤廃（各クラブで設定が可能）
 - ④グローバル補助金に参加可能（要件あり）
 - ⑤すべての地区委員会にローターアクターが加わるのを推奨
- これをふまえて、今年度は「スタートアップ & ステップアップ」の年にします。
これまでの以下の主な活動

- ★スポンサークラブへの協力・協働
 - ★地区内外ローターアクトクラブとの協働
 - ★ライラなど地区行事への参加
 - ★地区内外ローターアクターとの活動&交流
- 加えて、ローターアクターの若いパワーとネットワークを活かすべく、スポンサークラブのみならず全クラブにローターアクターとのコラボプロジェクトや協力を呼び掛けていきます。

そのために

- ①ローターアクターへ「ロータリー」を学ぶ機会の創出
- ②ロータリアンが「ローターアクト」を学ぶ機会の創出
- ③相互理解のための交流やロータリークラブへのメーキャップや卓話
- ④グローバル補助金などの財団プログラムの理解
- ⑤新プロジェクトプランニングワークショップ・セミナー
- ⑥全国RA研修会（D2800山形開催）へ全員参加
- ⑦国際奉仕として海外RACの視察・交流等を企画します。

最優先するのは、ローターアクターとの対話でありコミュニケーションです。

共に「ENJOY! ROTARY!」の精神を分かち合いながら活動して参ります。



学友委員会

委員長 廣澤 俊樹
(福島南RC)

学友委員会は、ロータリアンの理解を得、プログラム参加経験者のネットワークを構築し、一過性な活動に留まらず、その意志有る者に、更なる持続可能な活動の場を提供し、支援をする

委員会です。

クラブの具体的な活動としては、

1. 学友への情報発信。
(ロータリーやインターアクト、ローターアクトの活動を郵送やメール等にて伝える)
2. ロータリーの活動への学友の参加を勧める。
(例会、奉仕活動、地区大会等)
3. ロータリープログラムへの参加を促す。

(例:青少年交換学生やRYLA参加者にローターアクトクラブへ参加を勧める)等が挙げられます。

[次世代への義務と責任]

2530地区のロータリアンは、私達の後を担う次世代に対する活動への理解を高める必要があると考えます。逆に言えば、2530地区は決して、次世代に対する活動への理解が高いとは言えません。

117年もの間ロータリーが存続し活動をしてきたのは、それが良い活動であり、そしてその時々後輩達がそれを理解し、先人の精神や意志を脈々と受け継いできたからです。私達は後から来る者達に、その良い活動を伝える義務と責任があると考えます。ロータリーが会員を強

増(あえて強増とします)する大きな目的の一つがここにあります。一過性の数の増や、減の停滞に踊ることなく、即効性は無くとも、後を継ぐ者達を育てる活動に力を入れなければなりません。ロータリー精神の継承に努力しましょう。

以前のロータリー活動は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大奉仕でしたが、2010年の規定審議会に於いて新世代奉仕が加わり五大奉仕となり、その後新世代奉仕(New Generations Service)から、Youth Service青少年奉仕へと名称が変わりました。これらの変遷は、ロータリーが若者達への活動、そして若者達との活動が重要であると考えているからです。



ロータリー財団委員会

委員長 田久昌次郎
(いわき平中央RC)

新たな発想で、クラブからの貴重な意見を承りクラブの「御用聞き」・クラブが主体の委員会に活動に徹します。

次年度地区委員会の体制について

ロータリー財団委員会(委員長・副委員長)
補助金委員会(5名+RAC1名)資金推進・ポリオ委員会(4名)財団資金管理委員会(3名)で活動いたします。

ロータリー財団に係る地区の数値目標

- (1) 年次基金 一人 150\$
- (2) PolioPlus 一人 30\$
- (3) ベネファクター(恒久基金寄付1,000\$以上)各クラブ1名の達成
- (4) 「寄付ゼロクラブ」ゼロの達成(年次寄付・PolioPlus基金)

地区委員会の取組み

1. ロータリー財団セミナー(7月31日)

と補助金管理セミナー(12月3日)の開催 各クラブの財団委員長あるいは委員の方々は必ずご出席下さい。

2. 地区委員会委員のクラブ訪問・卓話の実施11月「ロータリー財団月間」を中心に行いたいと思いますので、クラブ例会にお呼びいただきますようお願いいたします。
3. 地区Webサイト内に「財団Q&A」ページと財団資料のダウンロードページを設置いたします。
4. PolioPlus基金への寄贈 DDF地区財団活動資金の20%寄付を行います。
5. 寄付金「ゼロクラブ」の解消について年次基金について直近数年間は100%となっております。PolioPlus基金については、まだ未達が続いております。
6. ローターアクトクラブとの連携を行います。2022年7月よりRACは国際ロータリー会員となる変更がされております。
7. 地区「何でも相談室」の開設・相談員(地区委員)の配置を行います。

8. グローバル補助金（計画～最終報告まで）に対する地区委員会の係わり強化を行います。
9. ロータリーカードの加入をお願いします。ダイナース・オリエントコーポレー

ションを地区カード・クラブカード・個人カード・家族カード・法人カードなどでご活用をお願いします。利用した金額の0.3%が財団へ寄付されます。



米山記念奨学会委員会

委員長 **武 島 昭 良**
(相馬RC)

米山奨学会委員会では、分科会に於いて次のように事業を決定しました。

- | | |
|--|---|
| <p>7月10日（日） 13時30分開会点鐘
米山奨学生卓話研修会
郡山地区事務所開催</p> <p>7月30日（土） 学友会との共催の米山奨学生体験発表会
けんしん郡山文化センター
集会室5F、
13時受付 13時30分開会
16時終了</p> <p>8月6日（土） 13時受付 13時30分開会
米山カウンセラー研修会
郡山地区事務所 16時終了</p> <p>8月21日（日） クラブ米山委員長セミナー
郡山ビューホテルアネックス
13時30分受付
14時開会 16時終了</p> <p>9月3日（土） 10時30分受付 11時開会点鐘
世話クラブ・カウンセラーの
米山梅吉翁勉強会
郡山ビューホテルアネックス</p> | <p>10月</p> <p>11月6日（日） 面接官オリエンテーション
地区事務所</p> <p>12月11日（日） 2023年度米山奨学生選考試験
郡山ビッグアイ7F
奨学生の合格が決定次第、
世話クラブ・カウンセラー
の募集</p> <p>2023年</p> <p>1月29日（日） 2022年度米山奨学生終了式
郡山ビューホテルアネックス</p> <p>2月3日（金） 世話クラブ・カウンセラー
募集 締め切り</p> <p>2月4日（土） 世話クラブ・カウンセラー
決定</p> <p>4月23日（日） 米山奨学生歓迎オリエン
テーション
郡山ビューホテルアネックス</p> |
|--|---|

柴崎由紀氏講演による勉強会を実施する

米山奨学生、カウンセラー、米山委員会メンバー、他参加希望者

会場のキャパシティで人数制限を設ける。ZOOM配信をする予定です。

米山月間 地区内各クラブに於いて卓話の実施

面接官オリエンテーション地区事務所

2023年度米山奨学生選考試験郡山ビッグアイ7F
奨学生の合格が決定次第、世話クラブ・カウンセラーの募集

2023年
1月29日（日） 2022年度米山奨学生終了式
郡山ビューホテルアネックス

2月3日（金） 世話クラブ・カウンセラー募集 締め切り

2月4日（土） 世話クラブ・カウンセラー決定

4月23日（日） 米山奨学生歓迎オリエンテーション
郡山ビューホテルアネックス

以上のように決定致しました。

船引 RC・船引中学校 IAC 合同例会 6月8日

船引ロータリークラブ

2021-22

青少年奉仕委員会委員長 **吉田 隆夫**

令和4年6月8日(水)2021-22年度、二回目となる船引ロータリークラブと船引中学校インターアクトクラブとの合同例会を対面で開催しました。

今回は、地区青少年奉仕委員会 委員長 大木和彦様、同じく青少年奉仕委員会/インターアクト委員会 委員長 久井貴弘様をお呼びし卓話を頂きました。約30分という短い時間での卓話となりましたが、「インターアクトとは?」から始まり、「青少年交換事業」や「4つのテスト」等について、詳しくそしてわかりやすく説明を頂き、中学生はもちろん、我々会員も勉強になった例会となりました。ただ、インターアクトの歌をま

だ完全に覚えておらず、自信のない歌声でしたので、次回までに歌えるようにとの課題も見つかった有意義な合同例会となりました。今後も年2回程度の合同例会を開催し、様々な合同事業を計画してまいります。

最後に、大木委員長、久井委員長に感謝を申し上げ、報告と致します。



第9回全国青少年交換委員長会議及び全国危機管理委員長会議報告 7月10日



青少年交換委員会

委員長 **原田 康博**
(いわき平東RC)

7月10日東京の日本橋フロント6F「ABルーム」に於いて第9回全国青少年交換委員長会議及び全国危機管理委員長会議がリアルで開催されました。2部制で行われ、1部は、危機管理委員長会議、2部が青少年交換委員長会議、1部には地区危機管理委員長の志賀利彦直前ガバナーが参加され、RIJYEM研修委員の渡辺浩子さんは、1部と2部の両会議に出席されて、私は2部の方に参加致しました。今年度から青少年交換プログラムが再開されたことを受け、危機管理委員長会議はインターアクター、ローターアクター、ライラリアン、青少年交換学生等のすべての活動に対する危機

管理をしなければならず、「ロータリーの危機管理」、「災害時相互支援協定書取交し実施」、「賠償保険加入状況報告」等、より充実した会議内容であったかと思えます。

2部の青少年交換委員長会議は、昨年度から派遣の準備をしておりました2名のLTEP-OBS(長期派遣生徒)が出発する時期に近づいて居り非常にタイムリーな会議の内容でした。「YESSの運用について」、「交換同意書・APF・3点セット送付手段・MySOS」、「国際大会RYEプレコン参加報告・帰国時検疫体験」、「YESS、F-REGI、SANTOS、HGについて」、北海道の委員長による「カナダのIBS(来日学生)のビザ取得時の体験談」、「全国青少年交換研究会新潟会議(2023年6月10、11日)の案内」等今現実に必要な情報を得ることが出来、大変有意義な会議でありました。現在も困難な課題が続出してはおりますが、一つ一つ克服しながら私達は、未来を担う若者たちの夢を叶えるためにいっそう努力していかなければならないと感じております。

米山記念奨学生卓話研修会開催報告 7月10日



米山記念奨学会 推進委員会

委員長 泉田 征慶
(浪江RC)

米山記念奨学会委員会による米山記念奨学生卓話研修会を7月10日に郡山市の地区事務所2階にて開催いたしました。ガバナーはじめ地区役員の方々、米山奨学生19人を含む36人の研修会になりました。

卓話についてガバナーから、自分の思い、日本と母国のこと等をロータリアンに伝えることが大切なこと。それを理解したロータリアンは米山奨学会への意識を強くするので、来年度以降の事業につながっていく。そのためにすばらしい卓話が出るように本日の研修会でしっかり学んでほしいとの挨拶があり、卓話の目的、内容、話し方等の説明の後、3人の奨学生からモデルとなる卓話を披露してもらいました。いずれも素晴らしい卓話でした。ナイジェリア出身のウィリアムズ ヨハンナ イェリマさんは来日から2ヶ月しか経っておらず、チンタカ・クマール学友会会長から指導を受けながら練習を重ねたようです。

その後、3つのグループに分かれ、全員に7分間のスピーチにチャレンジしてもらいました。内容は①今の私②私の国③私の学校④私の家族⑤私の目標⑥奨学生になって⑦ロータリーについて思う事⑧私がお金持ちになったら 等から自分の好きなテーマを選び挑戦してもらいました。皆さん熱心に話をされ、奨学生同士良いところをメモするなど真剣に取り組む姿勢が見られました。指導役として各グループに就いていただいた地区役員の方々からそれぞれ講評をいただき、修正が必要な所、もっと詳しく話した方が良い点など、具体的な指導をいただきました。実践ではさらにすばらしい卓話が出るものと確信しました。

最後に平井PG、担当相談役の石黒PG、右近GEからそれぞれ講評をいただきました。緊張をほぐす方法、自信を持って話をする事、また、ロータリアンから好意をもたれる方法など心構えについてのご指導もいただきました。今後もこの米山奨学金の制度を利用するであろう後輩達のために奨学生の皆さんは真剣に取り組んだ研修会でした。



職業奉仕委員会



ロータリーの標語

委員 内藤 哲太郎
(二本松RC)

ロータリーにはいくつかの奉仕理念があります。一つは弱者に涙し、他人のために役立つという社会奉仕や国際奉仕に関する理念で、私たちはこれを Service above self「超我の奉仕」というモットーで現しています。同じく科学的かつ道徳的な経営方針によって、自分の事業や同業者の事業の発展を図ると共に、業界全体のモラルを高めていこうという職業奉仕の理念で、私たちはこれを He profits most who serves best「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーで現しています。

ロータリー財団の標語として、ロータリー財団の父と呼ばれる6人目のRI会長、アーチ・クランプは、ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で「世界でよいことをしよう」という呼びかけをしています。

1950年にデトロイトで開催されたRI国際大会で正式採用された、Service above self「超我の奉仕」B・フランク・コリンズは他人のために尽くす意義を現したものととして決議されました。

職業奉仕論と言え、まず元祖アーサー・F・シェルドンの職業奉仕論を上げなければなりません。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」です、これは最もよく職業奉仕を行うと最も多く職業上の利益を得られると解釈できます。シェルドンはビジネススクールで講じていた「販売学論」に基づいて上記理論を提案しました。

この職業上の利益は目先の利益ではなく、「継続的、長期的利益」であり、安定した企業経営による利益を意味することになります。シェルドンを理解すれば、シェルドンが説く職業奉仕の理念を完全に理解することができそうです。

ロータリーの根本は、利己と利他の心を上手く調和させる「超我の奉仕」という名の人生哲学です、それは、実生活上、実に道理にかなった、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉を原理原則とした人生哲学といえそうです。

最後に私自身もシェルドンが提唱した奉仕理念を忘れることなく、地域社会のニーズを満たす奉仕活動の実践を併せて行うということを常に念頭に置きながら活動していきたいと考えています。

地区大会のご案内

1日目 2022年11月12日(土)

会場：会津若松市 会津若松ワシントンホテル

会長・幹事会

地区指導者育成セミナー

講師 D3350(タイ中央部、カンボジア、ミャンマー、ベトナム)

ガバナー 飯田 光孝氏

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2日目 2022年11月13日(日)

会場：喜多方市 喜多方プラザ文化センター

本会議

青少年関連プログラム

記念講演 『會舞道 郷人』

会員懇親会

「ロータリーなんでも相談室」開設のお知らせ

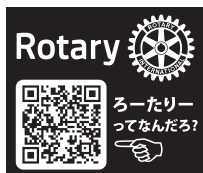
相談窓口として下表の連絡先にご相談いただくようお願いいたします。
相談方法は、基本メール又は FAX によるものといたします。

分野	担当	E-mail	FAX
地区・クラブ研修	石黒 秀司	ishiguro@abnet.or.jp	024-959-6577
会員増強拡大・DEI	福舩 透	hakase1011@outlook.jp	024-961-9989
公共イメージ・IT	町田 晃	a.machida@ma-sol.com	024-933-4856
職業奉仕(※)	古俣 猛	t-komata@jupiter.plala.or.jp	024-545-1210
社会・国際奉仕	早川 敬介	hayakawa@wave.plala.or.jp	024-932-8323
青少年奉仕	大木 和彦	kamataio@amber.plala.or.jp	0248-73-0323
ローターアクト	渡辺 浩子	cham@d-marble.com	024-536-3090
学友	廣澤 俊樹	tytk4h@h3.dion.ne.jp	024-548-0609
ロータリー財団(※)	菊地 淳	mkikuchi@ixcel.co.jp	0246-25-5256
米山記念奨学会	武島 昭良	kinshodo@bb.soma.or.jp	0244-36-6262
危機管理	志賀 利彦	toshihiko_shiga@izumidensetsu.co.jp	0246-56-9111
戦略計画	平井 義郎	core@k7.dion.ne.jp	024-531-8123
地区・クラブ規定	芳賀 裕	haga@w7.dion.ne.jp	024-535-8562
メルボルン国際大会	右近 八郎	h.ukon@maxam-trust.co.jp	024-534-9329
地区・クラブ運営	佐藤日出夫	csnet@lapis.plala.or.jp	0241-21-1554

※職業奉仕委員会とロータリー財団委員会は、月により担当者が変わります。

● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪
スマホのカメラで QR コードを読み取ってください



一般向けサイト



Facebook ページ

今月の表紙紹介



写真提供：
(一社) 喜多方観光物産協会

会津盆地を一望できる三ノ倉スキー場のゲレンデなどを利用した、東北最大級のひまわり畑。また見晴らしの丘には、花言葉にちなみ、「幸福の鐘」が設置されています。それぞれの願いを込めて鐘を鳴らしてみませんか。例年の開花時期は8月中旬から8月下旬です。